

社協だより

Vol.158

**むつ市開催は、近しい
あなずましいです。**

青森県などが主催する高齢者の文化とスポーツの祭典「あおもりシニアフェスティバル」が九月七日、下北文化会館において開かれました。

当日の総合開会式・文化イベントには、県内から約千二百人のお達者さんが集まり、当村老人クラブ会員二十二名も負けじと参加しました。

参加者は、むつ総合病院の小川克弘院長の「人生の先輩から学ぶ」と題した講演に熱心に耳を傾けたり、保育園児のアトラクションに大きな拍手を送るなどイベントを楽しみました。



開会式のもよう

**青森県障害者スポーツ大会
に当村選手ら燃ゆる!!**

今年で十四回を数える「青森県障害者スポーツ大会」が開催され、九月十七日(日)弘前市運動公園で陸上競技が行われました。

当村身障者福祉会(会長・浜辺俊一)運動組の坂本、中村両親分と林組員といった歴戦のツワモノが参加、ソフトボールや槍などを「故金田一前会長に届け」とばかりに弘前の大地にブン投げ、強敵を蹴散らしてまいりました。

応援の木下・佐藤(社協)、木村(役場)らの声援の中、必死な親分達の汗に津軽の秋風が爽やかに吹き抜けました。



左から林(銀)、中村(金)、坂本(銅)の快挙!!

青森県生命保険協会より 福祉巡回車を寄贈いただきました

九月十四日(木)、「げんきかん」において、青森県生命保険協会福祉巡回車贈呈式が開催されました。

贈呈式では、青森県生命保険協会・武田健司副会長が「少子高齢化が急速に進行する昨今、これからも高齢者の介護体制整備充実を支援する活動に重点を置いて、地域社会に貢献していきます。」と挨拶。

青森県社会福祉協議会・三浦善二郎事務局長より「生命保険会社社員の皆様の募金によって、今回、風間浦村と板柳町両社協に福祉巡回車が贈呈されたことは、社協の推進する地域福祉事業や在宅サービスの大きな力になります。」と祝辞がありました。



武田協会副会長(右)と丸山社協会長

これに対し、丸山信夫会長は「今回、社会貢献活動による善意を受けたことは、高齢者の見守りや在宅介護サービスに重点を置いて取組んでいる私たちの取り組みの大きな励みとなります。今後も地域福祉の充実にまい進することを約束します。」とお礼の言葉を述べました。

同協会では、加入保険会社社員の募金活動により、平成三年度から累計三十六台の福祉巡回車を寄贈しています。

【寄贈車両】

- ・三菱ミニカバン ライラ
- オートマチック車
- 四輪駆動・寒冷地仕様
- スタッドレスタイヤ付



ご準備よろしいですか?

新評議員紹介

九月四日(月)開催の理事会において「選出団体の異動に伴う新評議員の選任」について審議・同意され、次のとおり後任者が決定しました。

評議員は、地域の住民組織や福祉関係団体、公的機関の代表者等により構成されます。

【新評議員】

(任期：平成18年9月4日～平成19年4月30日)

- ・公民館長
- 中津 耕太郎
- (前任者：同 工藤 憲一)



大切に使います!